

第4学年1組 おおとりの時間学習指導案

平成26年6月14日(土)

授業者 杉山 直樹  
授業会場 4-1教室

1 単元名 みんな なかよし プロジェクト

2 単元の目標

附属幼稚園や友達との交流を通して、相手の立場や気持ちを考えながら主体的に行動し、相手の立場や気持ちを考えて接する態度をよりよくすることができるようにする。

3 単元について

(1) 単元設定の理由

児童は、普段の生活において、同年齢の友達を中心に学校生活を送っている。一方、異年齢の子供と接する機会は、比較的少ない。そのため、先入観で相手を見てしまい、そのことがコミュニケーションを妨げていることがある。実際に会って会話や活動をしてみると、自分達と同じように生活をしていることが分かる。そこから交流することは、これまで自分がもっていた異年齢の子供に対する見方と、現実との違いに気付き、人との接し方を見直していくことにつながると考える。このように、様々な人の生き方や考え方に触れることは、普段、同年齢の友達と過ごすことの多い児童にとって、有意義であると考え、本単元を設定した。

(2) 展開にあたって

本単元では、交流する活動を通して児童自らがその価値を感じとれるように指導していく。

交流会では、相手の立場や気持ちを考えて自分から働きかけていくとともに、相手の反応を感じたり、相手を肯定的に受け止めたりすることも大切である。時には、相手に注意を促したり、相手の要求を断ったりしなければならないこともある。このような場面は、「相手にとって自分がどうすることが大切なのか」を考えるよい機会である。また、相手が、自分が予想した通りの行動をするとは限らないことや、相手の個性によって反応は様々であることを理解することも大切である。このように、実際に交流する活動を何度も行い、体験を積み重ねていく中で、「相手を思いやる気持ち」を培うようにする。

また、交流会後には振り返りを行い、自分の行動と相手の様子について考えるようにする。そこでの反省を次の活動に生かす体験を積み重ねていく中で、しだいに相手のよさに気付けるようにする。また、自らの友達に対する接し方についても見直していくことができるようにする。

4 観点別評価規準

ア 問題解決能力	イ コミュニケーションの力	ウ 自己を見つめ、自己を高めていく力
①相手のよさを考えながら、交流会の活動計画を立てたり、実際の活動を行ったりしている。 ②交流会を振り返り、成果と課題を明確にしながらか自分の計画を見直している。	①友達と力を合わせて幼稚園の園児と交流したことを伝え合っている。 ②相手の立場や気持ちを考えながら、幼稚園の園児と関わりをもち、関係を築いている。	①交流会での関わり方を基に、自分とペアとの関わり方を見つめ直している。 ②交流を振り返り、自己を見つめ、相手の立場や気持ちを考えて接する態度をよりよくしている。

5 単元の指導計画・評価計画(36時間扱い)

◎学習対象:

・自分と附属幼稚園児

◎学習事項:

・附属幼稚園児のよさ ・附属幼稚園児の思いや願い

◎これまでの学習との関連

・1年生の生活科(学校探検)

・2年生の生活科(町探検)

時数	学習活動・予想される児童の意識や姿	○指導上の留意点	評価規準 【評価方法】
1	<b>附属幼稚園の友達と交流しよう</b> (1)今までの交流について話し合う。 ・生活科で幼稚園に行ったね	○導入時、附属幼稚園児の様子を伝えるか、まだ何も情報を与えないで進めるかは、担任の指導内容、児童の実態に応じて考慮する。 ○幼稚園の生活と小学校の生活を比べて考えることができるようにする。(時間割表の比較などを通して)	ア ① 【発言・学習記録】
2	(2)幼稚園の友達と遊ぶことについて話し合う。 ・幼稚園のときはほとんど遊んでいたね ・僕たちも交流会で園児と一緒に遊ぼう	○自分の保育園・幼稚園経験を基に、どのような交流の仕方が考えられるか話し合う。 ○幼稚園のついでイメージマップでの話し合いを基に、幼稚園についてのイメージをもつことができやすくする。 ○交流会の時期や場所、内容については附属幼稚園と連絡を密に取り、調整を行うようにする。交流会の場所については広さの関係上、附属小学校が望ましい。	
3	<b>附属幼稚園の友達を迎えよう(第1回目)</b> (1)遊びの計画を話し合い、準備する。 ・どんな遊びをしたら園児は喜んでくれるかな。	○最初は自由にグループの中で意見を出して話し合いを進めていくようにする。話し合いの途中で、昨年度の交流会の内容を提示し、幼稚園児との活動をイメージしながら話し合いを行う。 ○第1回目の交流会であるため、まずお互いに慣れることを目的としていることを伝え、無理のない活動を計画することができるようにする。	ア ① 【発言・学習記録】
4	・みんなはどんな計画を立てているのかな。	○グループで話し合ったことを基に、全体で話し合う。 ○児童から出てきた発言を板書で整理していくことで、自分と友達の意見を比べやすくし、今後準備していくことを考える際に参考にすることができるようにする。	
5	・○○くんの遊びは面白そうだから、僕もペアと一緒にやってみよう。	○これまでの話し合いを基に、個人で何の遊びをするかについての計画を立てていくようにする。出来る限り、児童の計画を尊重していくようにする。	
6	(2)ペアとの顔合わせを行い、一緒に遊ぶ。	○第1回目の交流会であるため、まずお互いに慣れることを目的とする。そのため、初めに全体で歌とゲームを行い、場を和ませるようにする。 ○お互いのペアを確認したあと、低学年遊び場を中心に遊びながら、交流を深める。その際、ペアごとに写真を撮り、互いの顔を覚えることができるようにする。 ○第1回目の交流では、プレゼントなどは行わない。外遊びを中心に活動を行うようにする。 ○雨天の場合に備えて、室内でできるレクも計画しておく。 ○なかなか仲良くなれない児童には、相手が喜ぶことを考えたり、声をかけたりしながら、教師が積極的に支援を行うようにする。 ○園児の実態に応じて適宜休憩を挟むなど、体調管理には十分に留意する。	イ ① 【行動観察】
7	・ぼくのペアはどんな子だろう。		
8	・ペアは計画した遊びを楽しんでくれるかな。 ・なかなか思った通りに遊ぶことができないな。		
9	(3)交流会を振り返る。 ・楽しく遊んでくれたよ。 ・思ったように進まなかった。	○全体会の内容やペアとの遊びを振り返り、成果と課題を明確にする。その際、表などを用いて、自分たちの良かった点と良くなかった点、改善点について書き出ししていくことで、より交流会を振り返ることができるようにする。	ウ ①



10	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の言ったことはペアに伝わっているのかな。</li> <li>ペアがもっと楽しく遊んでくれるにはどうしたらいいだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第9時での個人の反省を基に、全体でよかったところ、よくなかったところを話し合う。</li> <li>○児童から出た意見を関連付けながら教師が板書し交流会を振り返り次回への計画につなげていくことができるようにする。</li> </ul> 	【発言・学習記録】
11	<b>附属幼稚園の友達のことを理解しよう (第2回目)</b> (1) 遊びの計画を話し合い、準備する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>今度の交流会では何をしよう。</li> <li>ペアは幼稚園でどんな生活をしているのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1回交流会の改善点を基に、個人で第2回交流会の計画を立てるようにする。その際、「ペアは普段幼稚園でどんな遊びをしているのだろう」と教師が発問することで、次時の幼稚園見学に意識を向けていくことができるようにする。</li> </ul>	学習記録】ア②【発言
12 13	(2) 幼稚園での生活の様子を見学する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>意外に園児でもできることは多いな。</li> <li>もっと走る遊びを取り入れてみよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○園児の生活を知り、それを交流会の計画の中で生かすことを目的に、幼稚園を訪問し園児の普段の様子を見学する。ここでは園児の生活を知ることが目的としているため、園児との交流は行わず、遊んでいる様子を観察する程度でとどめておくようにする。</li> </ul> 	学習記録】イ②【行動観察
14	(3) 幼稚園の先生の話聞く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>やっぱり安全に気を付けて遊んでもらいたいんだな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼稚園の先生に来ていただき、「幼稚園の先生の立場から、交流会で4年生の児童に望むこと」というテーマでお話をしていただく。話していただいたことを基に考えたことを振り返ることで優先順位の見直しへとつなげていくことができるようにする。</li> </ul>	ウ②【発言・学習記録】
15	(4) ペアの思いを聞く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>自分のペアは前回の交流会はどう思ったんだろう。</li> <li>ペアのために思ってやったことは伝わったのだろうか。</li> <li>ペアがこんな感想をもっているとは思わなかった。</li> <li>次回に向けて優先順位を変える必要があるそうだな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目指す交流会に向けて、ベン図を用いて自分たちが考えた要素と、幼稚園の先生の考えとの共通点や相違点が見える内容を掲示しておく。</li> <li>○タブレット型端末を用いて、児童一人一人が自分のペアの考えに触れられるようにする。</li> <li>○ペアの反応や考えが自分と違っていた児童には、その理由を考えることで、自分の優先順位の見直しのきっかけとなるようにする。</li> <li>○よりよい交流会にするための要素を短冊にし、机上で操作できるようにする。</li> <li>○児童の発言を基に、それぞれの要素のよさや、他の要素との違いを板書しながら明確にしていく。</li> <li>○他の児童の考えを聞き、自分の考えとの共通点や相違点を見付けられるようにする。</li> </ul>  	ウ②【発言・学習記録】
16	(5) 自分たちの交流会の目指す姿を設定する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>どうして私達は交流会をしているのかな。</li> <li>ペアに楽しんでもらいたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼稚園の見学を基に、自分たちが目指す交流会のテーマを設定するようにする。テーマを決めていく際には、個々が考えるキーワードを全体で集約しながら、決めていくことができるようにする。</li> </ul>  	ウ②【発言・学習記録】
17 18	(6) 自分たちの計画を基に、第2回交流会を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>前回よりも楽しんでくれるかな。</li> <li>前回よりもペアのことが分かるようになってきたね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1回目の交流会での反省を生かして遊びを行う。前回より、長い時間関わることができるように、時間設定の配慮を行う。計画、進行については、第1回同様4年児童を中心に進めていく。</li> <li>○今回の交流でも、プレゼント等は行わないようにし、外遊びを中心に活動を行うようにする。ただし、室内でのレクについては認めていくようにする。</li> <li>○雨天の場合に備えて、室内でできるレクも4年児童が計画しておくようにする。</li> </ul> 	イ②【行動観察】
19 20 21	(7) 交流会を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>前回よりも楽しく遊んでくれたよ。</li> <li>違う遊びをやりがあっていいな。</li> <li>交流会では、ペアの気持ちを優先したい。</li> <li>小学校のことも教えなければいけないね。</li> <li>どれが一番大切にして交流会をしよう。</li> <li>幼稚園の先生は交流会についてどう思っているのだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体の内容やペアとの遊びを振り返り、成果と課題を明確にする。その際、表などを用いて、自分たちの良かった点とよくなかった点、改善点について書き出していただくことで、より交流会を振り返ることができるようにする。</li> <li>○個人のワークシートから、交流会で大切にしたい要素に予め教師が赤線を入れておき、全体での話し合いが円滑に進むようにする。</li> <li>○交流会で大切にしたいことを全体で話し合う。児童から出てきた大切にしたいことを板書で整理し、クラス全体で大切にしたいこととして集約していくようにする。</li> <li>○児童の考えを尊重し、この段階では無理に絞り込んでいくことはしないよう配慮する。</li> <li>○交流会で大切にしたいことの中から、特に自分が大切にしたい要素をランク付けする。</li> <li>○自分たちの思いだけでなく、幼稚園の先生はどのように考えているのか投げかけることで、幼稚園の先生の思いに意識を向けていくことができるようにする。</li> </ul>	ウ②【発言・学習記録】
22	<b>附属幼稚園の友達と仲良くなろう (第3回目)</b> (1) 第3回交流会の計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ペアとの会話を大事にした計画を立てよう。</li> <li>小学校のことをクイズにして教えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時に見直した優先順位を基に、具体的な計画を立てていくようにする。</li> <li>○日程については、幼稚園の先生と相談しながら進めていく。(※幼稚園は、水曜日は早帰りのため、交流会の日程には組まないよう配慮するとよい。)</li> </ul>	※第二回と同じ
23 24	(2) 第3回交流会を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>今日はたくさん小学校のことを教えるよ。</li> <li>たくさん体を動かして遊ぼう。</li> <li>会話をたくさんしながらペアのやりたいことをやるようにしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体の中で、ペア同士での関わりだけでなく、全体での遊びの時間を設定することで、より仲良く活動を行うことができるようにする。</li> <li>○第2回同様、長い時間関わることができるように、時間設定を配慮する。</li> <li>○今回の交流でも、プレゼントなどは行わない。外遊びを中心に活動を行う。ただし、室内でのレクや学校探検については児童から申し出があった場合、認めていくようにする。</li> </ul>	※第二回と同じ

25	(3) 交流会を振り返る。 ・ペアは交流会を楽しんでくれたかな。 ・前回よりも仲良く関わることができたね。	○全体会の内容やペアとの遊びを振り返り、成果と課題を明確にする。その際、表などを用いて、自分たちの良かった点と良くなかった点、改善点について書き出していくことで、より交流会を振り返ることができるようにする。	
26	<b>まとめの交流会をしよう (第4回目)</b> (1) 今後の活動について話し合う。 ・第4回ではどんな活動ができそうかな。	○第4回の交流会ではペアと一緒に給食を食べることを伝え、園児が給食に対して様々な気持ちをもっていることを話し合うようにする。園児の給食に対する不安を和らげるため、給食のよさについて伝えていくことができるようにする。	ア③ 【発言・学習記録】
27	(2) 栄養教諭から給食についての話を聞く。 ・どんなことをペアに教えていけばいいのかな。	○交流会当日のメニューについて、栄養教諭から話を聞くことで、見た目のよさの伝え方、食材について、食べやすい食べ方についての理解を深めることができるようにする。	
28 29 30	(3) 給食ガイドブックを作る。 ・給食のよさを伝えていこう。 ・絵を中心にかいたほうが分かりやすいね。	○給食に対して不安をもっている園児に対して、給食のよさや食べ方などが書かれたガイドブックをプレゼントすることによって、給食へのプラスイメージを園児が想起できるようにする。 ○内容については児童によって大きく差が出ないように、全体で内容について話し合ってから、かくようにする。	
31 32 33	(4) 第4回交流会を行う。(給食含む) ・多くペアと関われるようにたくさん話しかけよう。 ・給食ガイドブックを使って、給食の不安を和らげてあげよう。	○これまでの交流会を生かした計画を立て、行うことができるようにする。 ○多く園児と関わることができるよう、余裕をもった時間の設定をする。 ○給食時には、ガイドブックを基に給食について個々に話す時間を設定する。	イ③ 【行動観察】
34	(5) 交流会を振り返る。 ・ペアが給食ガイドブック喜んでくれたね。 ・ペアが小学校のことを好きになってくれたね。	○ペアとの関わりについて振り返りを行うようにし、次時のこれまでの交流会の振り返りへとつなげていくことができるようにする。	ウ③ 【発言・学習記録】
35 36	(6) これまでの学習を振り返り、自分の生き方を見つめ直す。 ・自分から進んで話すことは人と関わるときにも大事だね。 ・園児だけでなく、これからも大切にしていこう。	○これまでの交流を時系列で振り返る。これまでの交流会におけるペアとの関わり方や自分たちで解決してきたことを取り上げ、まとめていく。 ○園児との関わり5ヶ条を作り、関わりで大切にすることを考える。5ヶ条を基に、園児だけでなく、身の回りの人との関わりについても広げて考えていくことができるようにする。	



## 6 本時の学習指導 (本時 15 / 36 時)

### (1) 目標

自分の考えを見直し、次回の交流会で大切にしたい要素の優先順位に、明確な根拠をもつことができる。

### (2) 本時までの取組

1 回目の交流会を振り返り、成果と課題を整理しながら自分たちが目指す交流会の具体的な姿を設定する。児童が付けた交流会における優先順位を見直すために、附属幼稚園の先生の話聞き、自分たちの考えと比較することで、自分の考えとは違う視点があることに気づき、ランキングを見直したいと考えるようになった。

### (3) 展開

学習活動・児童の意識	指導上の留意点 (○) 評価 (評) 支援の工夫 (→)	時間
1 前時の学習を振り返り、本時の活動について確認する。	○目指す交流会に向けて、ベン図を用いて自分たちが考えた要素と、幼稚園の先生の考えとの共通点や相違点が見える内容を掲示しておく。	10'
<b>4年1組が目指す交流会</b> に向け、自分のランキングを見直そう。		
2 前回の交流会や次回の交流会について、ペアの考えを聞く。 ・自分のペアは前回の交流会はどう思ったんだろう。 ・ペアのために思ってやったことは伝わったのだろうか。	○タブレット型端末を用いて、児童一人一人が自分のペアの考えに触れられるようにする。 ○ペアの反応や考えが自分と違っていた児童には、その理由を考えることで、自分の優先順位の見直しのきっかけとなるようにする。	10'
3 次回の交流会に向け、自分の優先順位を見直し、全体で話し合う。 ・ペアがこんな感想をもっているとは思わなかった。 ・次回に向けて優先順位を変える必要がありそうだな。	○よりよい交流会にするための要素を短冊にし、ホワイトボード上で操作できるようにする。 ○ランキングが変わった、変わらなかったに関わらず、自分の考えの根拠を述べられるようにする。 ○児童の発言を基に、それぞれの要素のよさや、他の要素との違いを板書し、明確にしていく。 ○他の児童の考えを聞き、自分の考えとの共通点相違点を見付けられるようにする。	10'
4 さらに自分の優先順位を見直し、ワークシートに理由を記述する。	○全体での話し合いを基にもう一度自分のランキングを見直し、その根拠をワークシートに記述する。 ○自分の考えを見直し、次回の交流会で大切にしたい要素の優先順位に、明確な根拠をもっている。 →明確な根拠をもていない児童には、なぜそう思ったのかを直接問い、その発言をワークシートに記述できるようにする。	10'
5 ワークシートに記述した内容を発表する。	○自分の考えを見直すことで、優先順位の根拠が明確になった児童を意図的に指名することで、そのよさを全体に広めるようにする。	5'

## 7 備考 在籍児童数 40名